

## 今後の各WGの進め方について（案）

「経済財政運営と改革の基本方針 2018」（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定）において定められた「新経済・財政再生計画」に基づき、年末までに新たな改革工程表を策定する。

策定に当たり、社会保障WG、国と地方のシステムWG、経済社会の活力WGにおいて、それぞれの担当分野について成果をより定量的に把握できるKPIを設定し、その達成の道筋をロジックモデルで提示することとする。

### 《 検討のポイント 》

1. 改革工程表に以下のような事項を盛り込むため、各省よりヒアリングを行う。
  - 骨太方針 2018 を受けた改革の取組状況
  - 歳出改革等に向けた取組状況（主に以下のような事項）
    - ✓ 先進・優良事例の横展開
      - 各府省庁のモデル事業の効果等を定量的に把握、所管府省庁が責任を持って戦略的に全国展開、その状況をフォローアップ
      - 技術革新の導入に向け、関係府省、地方自治体等が連携し、広域的にサービスや手続等の標準化を進める
    - ✓ 見える化
      - 費用対効果や取組状況の比較・要因分析、戦略的な情報発信、例えば上位 3 分の 1 の水準をターゲット指標とするなど改革努力の目標としても活用
    - ✓ 公的サービスの産業化
      - 官民連携の下、公的サービスの産業化の取組を加速・拡大、専門知識の類型化・見える化や横展開、業務手法の標準化促進
2. 改革の取組による歳出改革・経済活性化への効果を定量的に把握するための KPI を 3 つの階層で設定し、ロジックモデルとして提示する。
3. 1. 及び 2. で検討した内容を踏まえ、新たな改革工程表案をとりまとめる。

《 今後のスケジュール（予定） 》

各WG 1回目

10月中下旬

- ・各省庁からの取組状況についてのヒアリング
- ・新改革工程表WG案とりまとめに向けたキックオフ

各WG 2回目

10月下旬～11月上旬

- ・新改革工程表の作成に向けてロジックモデルを中心に議論

各WG 3回目

11月中下旬

- ・新改革工程表WG案とりまとめ

経済・財政一体改革推進委員会

12月上旬

- ・新改革工程表原案提示

経済・財政一体改革推進委員会

12月中下旬

- ・新改革工程表案とりまとめ

経済財政諮問会議

12月中下旬

- ・新改革工程表とりまとめ